2006年 10月号 平成18年10月5日発行

愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター

Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical Library and Information Center **〒**464-8650 名古屋市千種区楠元町1-100 12052-751-2561(内線 1606~1608) http://www.slib.aichi-gakuin.ac.jp/



センターホームページ再リニューアル

歯学・薬学図書館情報センターでは、今年の3月にホームページを全面的にリニューアルしましたが、今回再度機能の見直しをして、再リニューアルしました。

今回は、本学の教職員・学生等学内の利用者にサービスを提供している「学内専用」のページを整理しました。 「館内情報」のページは、センターの「学内広報」のページと位置付けて、各種の情報を提供しています。

平成18年9月の利用状況

(1)開館日数及び入館者数 (昼間・9:00~16:45、夜間・16:45~19:00)

(17) Mai 1 30 0 7 (Mi 1 30 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											
		開館		日 数		入		館者		数	
	/	昼	副	夜	間	頄	間	夜	間	쇱	吉士
楠	귀		21		20		6,365		1,502		7,867
末盛	分室		21		20		4,205		1,847		6,052
合	計					1	0,570		3,349	1	13,919
学外利用者(登録なし) 楠 元 1名 末盛分室 2名						2名					
ナノババリハロ (豆まがみし) 作用 プレ				76				ンノエ		270	

(2) 帯出冊数

	_	教 職 員	学生	その他登録者	合	計	
m	数	131	627	0		758	
(3) 夢出人物							

(3)帯出人数							
	_	教 職 員	学生	その他登録者	合	計	
人	数	52	282	0		334	
「学生」のうち							
		歯学部学生	205名	薬学部学生		12名	

 (4)-1文献相互貸借依頼件数
 (4)-2図書・雑誌貸借依頼件数

 件数
 件数

 学外受付
 175 (57)
 学外貸出
 0 (0)

	14 安义		1十一级人				
学外受付	175 (57)	学外貸出	0 (0)				
学外依頼	143 (0)	学外借受	0 (0)				
合 計	318 (57)	合 計	0 (0)				
※() 内数字は大学図書館以外							

※()内数字は大学図書館以外

9月の統計上の入館者は、左表のように 13,919 名で昨年の 12,286 名に対して、1,633 名増加しました。逆に帯出冊数は昨年に比べて 232 冊減少し、帯出人数も 302 名減少しました。 9月は歯学部の春学期定期試験のため、 9月 1日(金)から12日(火)までの平日の8日間1時間の開館延長をしました。開館延長時間帯の延べ利用者は 155 名でした。試験の影響で、9月の楠元センターの利用者は、7,867 名で、今年度最高になりました。場所の提供は図書館の重要なサービスのひとつですが、静かに調べ物等をしている利用者もいます。試験の時間待ちでも静観な環境は保ちたいものです。学生の皆様のご協力をお願いします。

 \bigcirc ベストリーダー この1ヶ月間に4回以上貸し出された図書は以下の6冊でした。

1位 8回 エンドドンティクス 21 須田英明/[ほか]編 改訂版 永末書店, 2004.3

2位 5回 エンドドンティクス21 須田英明/[ほか]編 永末書店, 2000.3

5回 歯科麻酔学 古屋英毅/[ほか]編 第6版 医歯薬出版,2003.4

3位 4回 クラウンブリッジ補綴学 川和忠治/[ほか]編 第3版 医歯薬出版,2004.3

4回 国試の鉄人 国試の鉄人の会/[編] DES 歯学教育スクール, 2003.9

4回 歯科医のための耳鼻咽喉科学 飯沼寿孝/[ほか]著 第2版 医歯薬出版, 1996.5

相変らず学生が必要とする新しい図書が少ないという気がします。これは、私達図書館員が利用者のニーズを把握した選書をしてこなかったことが原因だと思います。蔵書構築は、質の高い図書館サービスを実施するための基盤となるものです。AGUD・P Library News NO17でもお知らせしたように、センター図書費を有効に活用して、魅力ある蔵書構築ができるように、専任職員・委託スタッフ全員で努力したいと思います。利用者の皆様は購入希望図書を申出てください。教育課程を考慮して必要なものは購入します。



10月27日は「文字・活字文化の日」です

文字・活字文化振興法が昨年、平成17年7月に施行されました。これは、文字・活字文化が、人類の長い歴史の中で蓄積してきた知識と知恵の継承と向上、豊かな人間性の涵養と健全な民主主義の発達に欠くことのできないものであることに鑑み、その振興に関する基本理念を定め、施策の総合的な推進を図ろうとするものです。国及び地方公共団体は、司書等の人的体制の整備、図書館資料の充実、情報化の推進等の物的条件整備等に努めることとされ、市町村は、必要な数の図書館の設置と適切な配置に努めること等が規定されています。これに伴い、10月27日が「文字・活字文化の日」とされました。これに因み利用者に本に親しんでもらうように、「文学」の書架の上に簡単な書評を付けた本をおいています。また、インターンシップの学生に推薦図書を選んでもらいました。今回S君とAさんのものを紹介します。是非読んでみてください。

インターシップの学生の推薦図書

S君の推薦 ①書名:インストール

当センター所蔵あり

十七歳の女子高生の朝子は、ある日ドロップアウトをして、自分を変えようと部屋の中のすべての物を捨ててしまい、さらにその中にあったパソコンをかずよしに売ることにした。 売ったパソコンを使ってアルバイトをしているかずよしを手伝うことになった朝子は、インターネットのDEEPな世界にしだいにハマッていく。最年少十七歳、第38回文芸賞受賞作。

②書名:ダ・ヴィンチ・コード

当センター所蔵なし

深夜のルーヴル美術館の館中で館長ソニエールが死体で発見された。殺害当夜に館長と会うはずだった主人公ラングトンは警察に協力を求められ、ソニエールの残したダイイングメッセージを解くことになった!!

ダ・ヴィンチの絵の謎と、ソニエールが残したメッセージが絡み合い、主人公を歴史の裏側に誘い込む!!ダ・ヴィンチの絵の解説を見るだけでも価値がある作品です。

③書名:いま、会いにゆきます

当センター所蔵なし

一年前に最愛の妻を亡くし、一人息子、佑司とふたりで暮らす巧。一年後、彼らの前に死んだはずの妻が雨の季節と共に帰ってくる。それは妻の残した言葉どおりであった。

帰ってきたことを喜ぶ二人だったが、妻は記憶を全て失っていた。そして三人の生活が始まる。親子愛や夫婦愛が素直に書かれた作品です。

Aさんの推薦 ①書名:博士の愛した数式

当わいな― 正蔵あ

博士の記憶は数分間しか持たず、いつも服にメモを沢山はりつけて生活しています。昔は優秀だった彼ですが、事故にあったその時以来記憶は数分サイクルでとんでいってしまうのです。家政婦はそんな博士のところで家事手伝いをはじめました。家政婦と、博士に半ば強制で連れてこられた家政婦の息子は次第に博士とうちとけていきます。数字の面白さ、数式の美しさを知り、感動した一冊です。70年代の野球選手の話も、読んでいて楽しいですよ。

②書名:世界の中心で、愛をさけぶ

当センター所蔵あり

高校生の朔太郎と亜紀は突然出会い、お互いに仲良くなっていく。亜紀のことが気になりは じめた朔太郎は友達の協力により泊まりがけで亜紀と二人で島に行く。楽しい時間を過ごして いたが突如亜紀が倒れ、医師により白血病であると言われる。次第に弱っていく亜紀が言いの こしたのは、遺灰をオーストラリアの大地に飛ばしてほしい、だった。過去と現在をうまく文 中に表現し、私たちも朔太郎と亜紀と共に共感していける一冊だと思います。

③書名:怪笑小説

当センター所蔵なし

短編集であるこの小説の中に、「超たぬき理論」という話があります。主人公は幼い頃、田舎のおばの家へ行き、ある動物に出会う。その動物は姿を見せず、主人公が東京に帰る前日に「キュー」といいながら外へ飛んでいってしまった。とうとう姿を見ることができなかった主人公は、おじに尋ねてみると、それはたぬきだと言われ、うのみにしてしまう。たぬきにのめりこんでいった彼はついに、「UFO」はたぬきが「文福茶釜」に化けたものであるという理論を発表し世界を驚かせた。この話もそうだが、他の話にも必ずブラックジョーク的なオチがついていて面白い。私のおすすめの一冊です。

「 $AGUD \cdot P$ Library News」はホームページでもご覧いただけます。